

児童教育を支援する
「博報財団」が、すぐれた
取り組みを顕彰する

第49回「博報賞」受賞

日本文化理解教育部門

徳島県 ● 北島町立北島北小学校

地域の人々の
想いに触れ、自分に
できることを考える

村が総出で力を込めて祝ったかつての日本の祭り。都市化や少子高齢化が進み、こうした日本の原風景が失われつつある中、北島北小学校が掲げるのは、「地域の伝統文化を大切にしていこうとする心を育て、誇りをもってたくましく生きる子どもの育成」だ。

この日、2年生のクラスでは、「ようこそ『きたきたまつりへ』」と天満神社秋まつりから学ぼうと学習のめあてに、生活科の授業が行われていた。「きたきたまつり」とは、北島北小学校の北側に隣接する、北村天満神社の奉納獅子舞を2年生が学校で再現して、1年生に祭りのよさを

楽しさを伝えるイベント。子どもたちが、「祭りに込められた想いや願いに気づき、進んで地域のよさを自分たちの生活に取り入れ、生かすことができるようにすること」をねらいとする取り組みだ。

北島北小学校では2年生は、2学期になるとすぐに祭りについて学び、その後、北村獅子舞保存会の協力を得て、本物の獅子舞や太鼓の体験学習を行う。そしてその経験をもとに、自分たちの「きたきたまつり」の準備に取りかかる。「獅子舞」「御神輿」「ダンス」「紙しばい」「飾りつけ」などのチームに分かれて準備を進め、地域の方の祭りへの想いが1年生に伝わるように、趣向を凝らして取り組む姿が印象的だ。

「獅子舞の獅子は、ライオン

なんだよ」

「御神輿の中には、神様がいらっしゃるって保存会の人言っているから、僕たちの御神輿にも神様を置くよ」

ふれる。北島北小学校では、長年にわたり徳島県の伝統工芸品である大谷焼の見学をはじめ、全校児童が「阿波おどりグループ虹」の四宮賀代氏による指導を受けるなど、郷土の伝統文化に親しむ素地を培っ



「獅子舞は、前と後ろの人の息を合わせるのが難しいけれど、声を出してやってみよう!」。クラスメートへのお披露目では、思ったような動きができなかったが、本番までの課題として取り組んでいく。

地域の伝統文化を大切に 心を育て、誇りをもって 受け継ぎ・発信する子どもの育成

北島北小学校に隣接する北村天満神社に伝わる、200年の伝統を誇る奉納獅子舞や地域の文化財の継承を通じて、子どもの育成に力を注ぐ北島北小学校に博報賞が贈られた。

てきた。こうした学びを礎に、平成28年度からはカリキュラムに基づき、伝統文化教育研究を本格的にスタートさせた。2年生が取り組む「きたきたまつり」も、この研究の一環としての取り組みにあたる。

藤島校長は「地域の人の願いや想いに触れることで、伝統を受け継ぐことの意味や自分は何ができるのか、どう生きていくべきかを、子どもたち自身に考えさせることを一つのねらいとしています。そうした活動を支えてくださっているのが、地域の方々なんです」と語る。

子どもたちに 必要なのは「仲間と 重なる地域での学び」

子どもたちへの文化継承に尽力する、北村獅子舞保存会会長の福家喜征氏は、「200年以上前に、ここで初めて獅子舞を始めた人たちの想いを、世代交代を繰り返しながらつないでいくこと——私は『続ける』ということに、大きな意味があると考えています」と、伝統文化を継承する意義を端的に示す。

かつては祖父が拍子木を打ち、父が獅子を舞い、子が太鼓をたたくという世代の循環が自然に行われてきた北村天満神社の奉納獅子舞。時代の変化に伴い、次世代へバトンをつなげることは容易ではなくなった。しかし、北島町の元教育長で、現在、学識経験者

として保存会や学校のサポートを続ける村上寛治氏は、ある実感を語ってくれた。「体験学習をきっかけに、子どもたちが地域に興味を持ち、子どもたちを通して親御さんの関心も高まってきたのではないのでしょうか。最近祭りに参加してくださる若い方が増え、夏休みにわざわざ地域のことを教わりたくて訪ねて来てくれる子どももいます」と。次世代につながる芽は、着実に育っている。

また、平成28年度の6年生がまとめた「北島ウォーキングマップ」は、町の全ての文化財を地域の宝ととらえて調査を進めたもの。まとめられた文化財を巡るルートは、平成29年度から町の「歩け歩け



「私たちも北村天満神社の奉納獅子舞や町の文化財のことを、多くの人に伝えていきたい」と、6年生。



古寺の光福寺で、6年生を前に文化財についてレクチャーする村上寛治氏。



御神輿についての歴史を2年生に語る福家喜征氏。



今後は、伝統教育で培った価値観を道徳教育にも生かしたいと語る藤島則之校長。

推薦者 お祝いのことば

徳島県教育委員会
美馬持仁 教育長

第49回博報賞の受賞おめでとうございます。北島町立北島北小学校では、伝統文化を継承する方々とかかわり、その思いや願いを知り、学ぶ中で、自分の住む地域・郷土への理解を深め、大切に

する心を育てています。本県では、「徳島教育大綱」及び「徳島県教育振興計画」による施策の一つとして、郷土愛を育む教育の推進に取り組んでおります。

今後とも、地域の人との絆から生まれる様々な学びを、伝統文化を守り続けようとする態度や新しい文化を創り出すとする意欲につなげ、次代の「人財」の育成を図っていただきたいと思います。